

## 第9回火山噴火予知連絡会議事録

日時：昭和52年2月9日（水） 14時30分～17時

場所：気象庁

出席者：永田、横山、高木、浅田、下鶴、行武、青木、久保寺、加茂、太田（九大）、生田（国土庁）、  
飯田（文部省）、瀬戸、杉浦、高橋（博）、小林、諏訪、末広、神沼（幹事）  
臨時委員：河村（地磁気観測所）、唐津（鹿児島地方気象台）、畑山（前橋地方気象台）

〔議事に先だち、永田会長から高橋（博）氏委員就任の報告と臨時委員三氏の紹介があった。〕

1. 第8回連絡会議事録（案）は異議なく承認された。

2. 最近の火山活動

2.1 桜島

唐津臨時委員：昭和51年の火山活動と降灰量分布調査結果の報告。

加茂委員：第2回集中観測の検討会を実施したが、前回の連絡会で中間報告した内容を訂正するような事項は認められなかった。ただ重力については横山委員によると海水の影響等を考慮すると増加したと強調できないということである。

統一見解については、2月1日の爆発で校舎の窓ガラスの破損等があった（唐津臨時委員）が、前回連絡会の統一見解につけ加えるほどの変化でもないので、特に発表の必要はないとの結論に達した。

2.2 草津白根山

畑山臨時委員：草津白根山水釜新火孔の現況と1月4日に同火山周辺に発生した有感地震について報告。

2.3 那須岳

気象庁・野島：1月30日から31日にかけて有感地震があったが、表面現象に異常は認められなかった。

2.4 三宅島

気象庁・野島：昨秋実施した機動観測による地震活動調査報告

2.5 硫黄島

高橋（博）委員：地殻変動調査報告

2.6 海底火山

杉浦委員：南硫黄島付近及び南東方海域の海底火山の最近の火山活動等について

東工大・小坂教授：福神岡の場はたびたび海底噴火し、水深3mまでなったことがある。日吉沖の場は1月10日の噴火でクローズアップされた。福徳岡の場は変色水が白色で活動弱い。

2.7 霧島山

下鶴委員：霧島山周辺の地震活動（高千穂峯付近では依然、地震の発生が多い）

3. 噴火規模について

下鶴委員：学問的な目的による噴火の規模と予測に使う規模とは使いわけが必要である。浅間山と三

原山とは同じ規模でも環境への影響は全く異なる。住民サイドからは地震で更われる「震度」とか「有感半径」的な表現は理解しやすい。

永田会長：このような問題は早急に結論が出ないので、じっくりと時間をかけていきたい。次回は加茂・横山両委員に答えを御用意されるようお願いする。

#### 4. 連絡会庶務報告

(昭和52年度火山噴火予知計画関係予算の概要と昭和21年桜島噴火以前の文献リスト)

#### 5. 協議事項

##### 1) 次回連絡会開催期日

日本火山学会1977年度春季大会(5月14～16日)終了翌日の5月17日に決定

##### 2) その他

浅間山の地元観光協会から国会議員を通じ、「火口から2km以内の立入禁止措置」の解除要請が国土庁に来ているので、本連絡会の見解を伺いたいと生田委員代理(国土庁)から提案があり、現地で観測を実施している気象庁と東大で検討することになった。

[17:00～17:10 記者会見 気象庁記者室]